

コード	103030106
記入日	H26.6.6

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	荒木順一郎

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	青方港新待合所建設事業
----------	-------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 26 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け		
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	2	
施策コード	103	施策名称	しまを支える交通基盤づくり	項コード	1	
基本事業コード	10303	基本事業名称	港湾の整備	目コード	1	
事務事業コード	1030301	事務事業名称	ターミナルビル特別会計事業費	細目コード	1362	
関連計画					法令・条例規則等	

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。				
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町民		(対象指標1) 21,809人 (H25.4.1現在)				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・現在の旅客ふ頭は、湾奥に位置し十分な船回しが確保できず、新船の就航に伴い、現在よりさらに安全性を高める必要がある。また、現可動橋は、建設後31年が経過しており、現在の設計基準荷重(20t)では荷重不足で大型トラック(25t)に対応できていない状況である。よって、安全で適正な港湾の運営を図るために、新に整備した旅客ふ頭に待合所を整備する。	(平成25年度) ・基本設計 1.0式 ・待合所建設 1棟	① 工事進捗率	40.0%	40.0%	実施工事÷ 全体計画工事	平成26年度
		② 工事進捗率	40.0%	100%		平成25年度
		(達成率分析)	事業計画どおり進捗している。			
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 利便性の向上	-	-	-	平成26年度
・現旅客ふ頭を、湾奥から湾前面に移転することにより、十分な船回しが確保され、貨物船や漁船等が集中する湾奥部でなく、安全なフェリーの回頭をさせる。また、現在の設計基準荷重に合った可動橋を使用することにより運搬車両への安全性の確保を行い、安全で適正な港湾の運営を図り、スムーズな旅客の移動を確保する。		(達成率分析)	待合所を建設することにより、交通の安全性の確保及び利用客の利便性の向上が図られる。			
		(達成率分析)				

実施 (DO)		※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。									
	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降	
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	①	%	100	40.0	40.0	40.0	60.0				
	②										
成果指標	①										
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	61,580	22,805		22,805	22,805	38,775				
直接事業費 A	千円	60,180	22,105		22,105	22,105	38,075				
人件費 B	千円	1,400	700		700	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
Cの財源内訳	国補助金	千円	30,089	1,500	1,500	1,500	28,589				
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	31,491	21,305		21,305	21,305	10,186				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	港湾利用者（旅客、観光客、住民）が利用するものであり、整備する必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	旅客船の供用開始に向けた利用客の期待に応えるもので、そのスケジュールに沿ったものである。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	ほぼ計画どおり事業は推進されているので特別向上させる必要はない。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	最小の経費で最大の効果をあげる設計で実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	最小の経費で最大の効果をあげる設計で実施している。また、設計の電算化等により省力化を図っており、現在の人員を削減することはできない。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	*****平成25年度新規事業*****
	今後、課題に向けた改善策	平成26年度供用開始に向けて建設工事の早期竣工を図る。

2次評価	観光客、島民の安心安全な海上輸送の環境整備及び利用者の利便性を向上させるため計画どおり事業を進めること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。